

広げよう

第6号(2004.2)

コミュニティの

輪

彩の国コミュニティ協議会会報



主な内容

P2 会長就任あいさつ

P2・3 平成15年度顕彰事業
シラコバト賞
ふるさとづくり賞・花いっぱいコンクール

P4 県民の日協賛事業

ごあいさつ

彩の国コミュニティ協議会会長
埼玉県知事 上田 清司



このたび、皆様方の御信任をいただき、彩の国コミュニティ協議会会長を務めさせていただきこととなりました、埼玉県知事の上田清司です。

役員の方々をはじめ会員の皆様方には、日ごろ、本県の発展のために格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本協議会は、昭和42年の埼玉国体を成功に導いた県民運動の成果を、住みよい地域づくりに生かすために設立されました。以来、県民の皆様方とともにコミュニティ活動を推進し、今日では県内各市町村において、それぞれの特色を生かした様々なコミュニティ活動が展開されています。これもひとえに、地域で地道な活動に取り組んでおられる会員の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

折しも今年は、37年ぶりの国体である、「彩の国まごころ国体」が開催されます。また、国体に続いて、障害者スポーツの全国的な祭典である、第4回全国障害者スポーツ大会も開催されます。私はこれらの大会に、多くの皆様に御参加をいただき、21世紀のモデルとなるような、簡素で心のこもった、素晴らしい大会にしたいと考えております。そして、大きな夢や感動を共有し、新しい埼玉の若さ・力強さを全国にアピールしていきたいと思っています。

当協議会といたしましても、清掃活動や花いっ

ぱい運動をはじめとする地域の美化活動や、大会ボランティアの育成などを積極的に推進して大会の気運を大いに盛り上げていきたいと思っています。

また、私は県政を運営するに当たり、3つの哲学を打ち出していますが、その1つに、「あらゆる行政分野に、安心・安全を確保する思想を貫くこと」があります。少子・高齢化が進む中で、安心感や安全感が、様々な場面で大事になっています。本県においても、ピッキングやひったくりなどの生活に身近な犯罪が急増しており、治安に対する県民の信頼が大きく揺らいでいます。そこで、私は、「日本一の安心・安全の県づくり」を実現するため、警察官の増員に加えて、身近な地域の安全性を高めていく防犯のまちづくりなどに積極的に取り組んでいるところです。

当協議会でも、防犯の啓発活動など、地域に根ざした防犯活動に力を入れております。今後とも県民の皆様方の一人ひとりが犯罪から自らの身を守る意識を持つことで地域の安全を高めていけるように、活動を続けていきたいと思っています。

このような国体への参加や防犯活動に留まらず、環境や青少年教育など県民生活のあらゆる分野において、コミュニティの果たす役割は非常に重要です。私は、彩の国コミュニティ協議会が核となって、地域活動を続けているあらゆる団体や企業、そして市町村との連携を図ることにより、住みよい地域社会を築くための活動を、より一層活発に進めていきたいと思っています。どうか会員の皆様方には、これまで以上に暖かい御支援と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成15年度顕彰事業

シラコバト賞

シラコバト賞を御存知ですか？

住みよい地域社会にするために長年にわたり活動している個人の方や団体に、その活動と功績をたたえ、県民の日に贈呈している表彰です。今年度は、287件の推薦をいただき、個人136、団体64の200件

が受賞しました。活動内容は、防犯のためのパトロールや清掃活動、子どもたちへのスポーツ指導、老人ホームでの奉仕活動など様々です。毎年6月頃に募集していますので、もしみなさんの身近にこのような活動をしている方がいましたら、ぜひ推薦してください。

「おおたかの森トラスト」が主催者賞を受賞 ふるさとづくり賞

ふるさとづくり賞は、斬新な発想による個性豊かで活力のあるふるさとづくりに取り組んでいる、優れた集団、市町村、企業に贈られる表彰です。

平成15年度は、県審査会で優秀賞に輝いた2団体を中央審査会に推薦したところ、所沢市の「おおたかの森トラスト」が栄えある主催者賞を、また、川口市の「安行みどりのまちづくり協議会」が、ふるさとづくり振興奨励賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。



上田会長からの表彰状の贈呈

● 受賞団体の紹介 ●

おおたかの森トラスト（所沢市）

所沢市、狭山市、川越市、三芳町に広がる「くぬぎ山」。おおたかの森トラストは、今も武蔵野の面影を残すこの「くぬぎ山」を守り育てていくため、募金活動で雑木林を購入したり、植樹や間伐などの作業を発足当初から積極的に行ってきました。しかし、市民の力だけで開発による自然破壊を食い止めるには限界があります。そこで、おおたかの森トラストでは、環境省にくぬぎ山の再生計画への参加を提言しました。それがきっかけとなり、国の公共事業「くぬぎ山自然再生事業」が平成14年度からスタートしました。さらに、「自然再生推進法」の早期制定の必要性を国会で訴え、



こどもエコクラブが制作したくぬぎ山の立体地図

立法を実現させました。

おおたかの森トラストは、行政と市民が一緒になって自然再生を進めていく活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

安行みどりのまちづくり協議会（川口市）

東京都心から約20kmの首都圏域に位置する安行地区は、江戸時代からの歴史があり全国的に名が知れている「安行植木」の産地です。安行みどりのまちづくり協議会は、市街化の進む安行地区に残された里山（斜面林）の保全とまちづくりを願って住民が自主的に結集し、活動を始めました。

斜面林にあった里道の部分に木道の小径と散策路を整備し、遊休地には、湧き出る清水を生かした「トンボ池」を造成。里山への案内板や散策用のガイドマップ「安行好路マップ」も作り、安行を訪れる人を優しく迎えています。また、都市部に残された貴重なイチリン草の自生地を保護して、市から天然記念物の指定を受けるなど、幅広い活動を続けています。

安行みどりのまちづくり協議会は、荒れ放題だった斜面林を市民の憩いの場としてよみがえらせた、会員の手作りの活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

川里町立屈巢小学校・鴻巣市生出塚団地自治会花のコミュニティが 2年連続大臣賞受賞 花いっぱいコンクール

花いっぱいコンクールは、花や緑を育てることを通じて、ふれあいと思いやりのある美しい地域社会づくりに取り組んでいる学校や職場、地域の団体を表彰するものです。

平成15年度は、県審査会において最優秀賞となった、「川里町立屈巢小学校」（学校の部）と「鴻巣市生

出塚団地自治会花のコミュニティ」（職場・地域の部）の2団体を中央審査会に推薦したところ、川里町立屈巢小学校が厚生労働大臣賞を、鴻巣市生出塚団地自治会花のコミュニティが総務大臣賞を受賞しました。

それぞれの活動について紹介します。

● 花いっぱいコンクール受賞校（団体）の紹介 ●

川里町立^{くす}屈巢小学校

昨年の文部科学大臣奨励賞に続き、2度目の大臣賞受賞に輝いた屈巢小学校では、花を通した人づくりを地域ぐるみで進めています。クラスごとに花の種類や色合いを考えた学級花壇はとても個性的。校内はいつも四季折々の花々で彩られ、休日には地元の方はもとより、他の地域からも見学や花摘みを楽しむ方が訪れるほどです。また、町内の福祉施設「川里苑」のお年寄りを学校に招待したり、子供たちが花壇づくりのため施設を訪問するなど、親交を深めています。その他にも、保護者を対象にした押し花教室の開催や、花の栽培指導を地元の生産者の方に協力していただくなど、屈巢小学校では、地域の方々とのふれあいを大切に、地域と一体となって花いっぱい運動に取り組んでいます。

鴻巣市^{おいねづか}生出塚団地自治会花のコミュニティ

昨年、コンクール初参加で厚生労働大臣賞を受賞し、2度目の今年も大臣賞を受賞した同会では、団地内の

公園や遊水池など、すべての公共用地に花壇を作り、住民のコミュニティの場とする活動を続けています。現在、会員は約120名。四季折々の花々を咲かせるため、年間に育てる花苗は、すべて会員の手で種から育てており、約300種類にもものぼります。「地球にやさしい花壇づくり」を進めるため、枯れ草や枯れ枝で作った堆肥を花壇に戻し、堆肥を発酵させて冬の花苗の成長を早めるオンドル式ビニールハウスを作るなど、様々な工夫をしています。

また、今年度は、県の花（サクラソウ）、市の花（パンジー）、平成16年度に開催される彩の国まごころ国体の大会花（アゲラタムなど12種類）がテーマ。国体等を盛り上げるため、県道沿いに新しく花壇を作って「花のロードづくり」を進め、地区内外の多くの人々の目を楽しませています。その他、市内の幼稚園や小・中学校、自治会に花苗を提供したり、他県団体の視察の受け入れやガーデニング教室の開催など、グループ外との交流も活発で、花づくりを通じたコミュニティづくりの中心となって活動しています。

県民の日協賛事業

明治4年の11月14日は、「埼玉県」が誕生した記念すべき日です。この日からちょうど100年目の昭和46年11月14日に、県民の皆様一人ひとりが県の歴史や風土を見つめ直し、郷土埼玉に対する親しみや愛着を深める日として、「県民の日」が定められました。

毎年、県内では様々な記念行事が開催されていますが、彩の国コミュニティ協議会も県民の日に協力していることをご存じですか？今回は、その事業をご紹介します。

「県民の日フリー乗車券」

県民の日に限り、県内のそれぞれの電車を1日乗り

降りできるお得な乗車券...それが、「県民の日フリー乗車券」です。当協議会では、県内の各鉄道会社（JR東日本、東武鉄道、西武鉄道、秩父鉄道、埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道）に御協力をいただいで、この乗車券をPRしています。各鉄道の車内中吊り広告にお気づきになりましたか。

「彩の国めぐりスタンプラリー」

県民の日に、県内の主な施設をめぐってスタンプをあつめる「彩の国めぐりスタンプラリー」に、県内の各種施設や企業に御協力をいただきました。

対象となった施設は、遊園地や温泉から美術館まで県内の244箇所。毎年、大人気のこの事業。参加者は12万人にものぼりました。



中吊り広告「さいたままで あそぼっ！」

編集・発行

彩の国コミュニティ協議会
埼玉県県民生活課内

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-2819

FAX 048-830-4750

http://www.pref.saitama.jp/A01/BQ00/community/com.htm